

保育及び子育て支援に関する調査研究報告書 -平成 16 年度-

II. 調査結果の分析

16. 認可保育所への企業参入

認可保育園に企業の参入が認められていますが、このことについてあなたのお考えに近いものを1つ選んでくださいという設問で、5つの選択肢がある。最も多かったのが「保育所運営が経営効率優先になるとこどもの福祉が損なわれる恐れがある」で46.4%、ついで「保育の世界に利潤追求を目的とする企業の参入は好ましくない」で27.5%あり、もう一つ悲観的な意見として「公共性、永続性が期待出来ない」が5.3%で、合わせると79.2%が企業の参入に難色を示している。前向きに賛成とする意見である「規制改革の観点から賛成である」が2.9%「待機児童対策に有効である」が3.0%、あきらめ的な観点として「時代の流れでありやむを得ないと考えている」が9.7%あった。企業参入に賛成の意志表示は合わせて15.6%あった。あとの5.2%は未回答である。

現に保育所を運営している方々のご意見であり公私の格差なくほぼ同じ率の回答であったが未回答の65園のうち48園が公営であることに、園の経営存続に直接的な関わり合いのない公務員的立場が垣間見えた感がある。